

中国映画「大路」に見る 30年代の標準語について

渡 部 洋

01 はじめに

清朝時代には満州人である旗人の話す言葉がベースになって当時の標準語である北京官話というものが存在していた^①。しかし、清王朝が倒れた後、標準語がどのようなものになったかはあまりはっきりとわかっていないようである。2016年6月に北京の清華大学で“漢民族共同語研究”のシンポジウムがあり、招聘された日本人研究者から“共同語”（標準語）が課題となっていたという話をお聞きした。そのシンポジウムの資料にも“五四前后的共同语应该怎样看？五四以后、白话文替文言文。老舍的作品根据北京口语写、而鲁迅、茅盾、叶圣陶、朱自清等的作品根据什么来写？对此需要深入的研究和分析。”とある^②。これは中国語研究の大学者である蔣紹愚氏の発言であるが、五四運動（1919年）後の標準語の実態解明を大きな課題として考えておられることがわかる。そこで当時の標準語を研究するための資料としての従来の小説、話劇以外に30年代前後に上映された映画の台詞もある意味有効な資料になりえるのではないかと考えた。なぜなら、映画は大衆に見てもらい容易に理解されないとはいけない。特別地方色を出す必要のないものであるなら、濃厚な方言を避け、標準語を基本とするはずである。拙論では1934年に上映された中国映画「大路」の台詞を取り上げ、清朝末の北京官話とどのような点において異なるかを考察する。そして映画の台詞が30年代の標準語の実態解明に有効な資料になりえることを確認する^③。

尚、以下の「大路」の用例の所在箇所を示す（ ）の数字は後に付した

「大路」の台詞の中の場面番号である。

02 「大路」のストーリー

「大路」は無声映画で、その芸術性や映画としての意義については佐藤忠男氏の『中国映画の100年』に詳しいが、ここではストーリーの概略を述べるに留めておく。主人公である金四の両親は金四が赤ん坊の時に飢饉でくらしがなくなり、村を棄て別の地に行くことにするが、金四の母は長旅の途中で亡くなる。その後、金四の父は道路工事の人夫をしながら金四を育てる。金四も小さいころから父を手伝い、父が亡くなった後、父と同様道路工事の人夫になり、人夫たちのリーダー的存在となる。ある時、金四は現場で仲間と喧嘩をしてしまい、雇い主から金四とその仲間4人が解雇される。金四等は解雇された後仕事をさがすが、なかなか見つからない。そんな中、金四は盗みを働いて捕まった韓小六子を救い、彼を自分たちの仲間に入れる。その後、金四等6人は中国全土の血管となる国道建設に参加する。建設現場ではやはり金四がリーダーになり、現場監督と張り合って人夫仲間を助けたりもする。ある村にやって来た時、飯場近くの飯屋で働く茉莉と丁香の2人の娘と知り合う。この2人の娘は飯場の男たちのアイドル的存在であった。茉莉は小さい時から芸人として旅回りをしていたが、後に飯屋の主人に雇われた。丁香は茉莉よりも年下で飯屋の主人の娘である。この2人の娘は本当の姉妹のように仲がよかった。そのうちこの2人の娘と金四等6人は親しい間柄となる。特に丁香は仲間の1人羅明と仲睦まじい関係になっていく。その後、その建設現場に軍の隊長が馬を走らせやってきて敵軍が近くまで来ていることが伝えられる。人夫の中には逃げようと言う者もでてくるが、金四が敵から国を守るために兵士を輸送する道路が必要であることを訴え、みんなと一致団結して道路を完成させようとする。しかし、建設現場を統括していた県長の胡幫辦は敵軍のスパイから道路建設の中止と引き換えに多額のお金を受け取り、中止に向けて動く。手始めに建設工事の中心的な金四等6人を自分の屋敷に招き、

豪華な料理で接待する。そして胡幫辦は彼らにお金を渡し逃げるよう説得する。しかし、意図がわかった金四等はそれを断った。胡幫辦は腹を立て手下に命じ金四等を地下牢の柱に縛り付ける。そして胡幫辦は手下に彼らを鞭打たせて言うことを聞かせようとする。茉莉と丁香は飯場の人夫から金四等は逃げたという話を聞き、おかしいと思い胡幫辦の屋敷に潜入しようと企てる。胡幫辦はもともとこの2人の娘を自分のものにしようと思っていたので、2人の娘が遊びにきたことに喜び歓待する。茉莉と丁香は屋敷の厨房を見たいと言って胡幫辦から離れる。そして2人は布切りバサミで屋敷の女中を脅して地下牢のある場所まで案内させる。茉莉は地下牢の天井の窓から布切りバサミをそっと金四の足元に落す。金四はそのハサミで縄を切り、他の5人も助ける。その後茉莉はすぐに胡幫辦のいるところへもどり、丁香は屋敷を出て飯場の人夫たちと軍隊の隊長に胡幫辦の悪事を伝える。人夫たちと軍隊の兵士が胡幫辦の屋敷へ乗り込むと茉莉は色仕掛けで胡幫辦に飲めるだけ酒を飲ませ泥酔させていた。金四は地下牢を脱出したが、仲間の張羽が脱出の際の戦いで死んでしまう。胡幫辦は捕まり軍隊に引き渡され、次の日から昼夜問わずの工事が始まり、3日ほどで道路が完成する。しかし、道路が完成した時に、敵の飛行機が飛んで来て機銃掃射で兵士や人夫たちが撃たれ倒れていく。銃弾に倒れた金四が倒れた兵士の銃で敵機を撃ち落とすが、金四も息絶え絶えで密かにお互い心惹かれていた茉莉の手を握り死んでいく。丁香の父は倒れて屍となっている人夫を見ている娘の丁香に“みんな死んでしまったな。”と言うと、丁香は“いいえ。死んでなんかいないわ。”ときっぱり言う。そうすると銃弾で倒れ死んでしまった人夫たちが死体から亡霊となって立ち上がり、また元気よく道路工事をし始めるのである。尚、最後の方の場面で飛んできた国籍不明の敵機は日本軍機であるが、当時蔣介石が日本を刺激したくないため、日本を挑発する映画は上映させなかった。そのため映画の中では日本機を示すものや日本という言葉は一切でてこない^④。

03 「大路」の言語特徴

ここでは文法面から「大路」の台詞を考察し、その言語特徴を探る。方法としては太田辰夫氏の『中国語歴史文法』と「北京語の文法特徴」を基に中国南北の言語の違いが「大路」の台詞にどのように反映しているのかを明らかにしようと思う。

03.1 文字表記について

文字の表記については繁体字を用いていてまだ清朝末の表記のままである。例えば、“どこ”という場所を訊ねるのに用いる疑問詞は《那裡》を用いている。《哪儿》も1例見られるが、反語として用いられている。ただ、この疑問詞の《哪儿》は清末期の文献には見られない。当時は通常口偏のない《那兒》を用いる。《哪》の文字表記自体は清末にも見られるが文末助詞として用いられている。また清朝時代に《呢》に取って代わられる語気助詞《哩》も1例見られる⁵⁾。そして現代中国語での感嘆詞の《喂》の意で《喂》を使っていて、《喂》が使われるまえの当て字と考えられる。また現代中国語の接続詞《那麼》は《那末》を用いている。

金哥他们下了工、都跑到那裡去了？（14）

你還沒有看過我內書房裡哩！（23）

呢！小羅和丁香偷跑了！（15）

那末他們現在在那裡？（21）

03.2 指示代名詞について

場所の指示代名詞の《這裡》は見られるが、《那裡》は疑問を表す《哪儿》の意で用いているものしか見ない。ただ、これはたまたま“そこ”の意を表す指示代名詞《那裡》を用いる場がなかったものと思う。先の文字表記のところでも述べたが、《哪儿》は1例だけで反語文で用いられている。

また清朝時代の北京語で見られる副詞的修飾語《這麼着》《那麼着》等は見られない^⑥。また《這麼》は1例、《那麼》は2例見られる。《這樣》は5例見るが、《那樣》は見られない。

真奇怪！敵國纔搶去了那片地、為甚麼現在又到這裡來打我們？（17）

失業！哪兒不是失業？！（04）

我們就這麼灰心嗎？（04）

金哥、我若有一天能夠駕那麼一輛機器壓道車、我真是死也無恨！（02）

世上的事、他知道得那麼清（13）

這樣難走的路！（01）

小羅、你總是這樣地高興！（02）

章大、你這樣胡鬧老不改、你的壞習慣傢見了都要頭痛了！（03）

這樣胡鬧下去、恐怕大家要做亡國奴！（03）

這樣地日夜趕築、三天以後、就可以連接虎嶺關的公路、我們運兵到前方、就可以直達了！（18）

03.3 数詞と量詞

《兩個人》を北京語では《倆》とすることがよくあるが、南京官話では《倆》を使わない^⑦。この「大路」の下記の用例の様な《兩個人》は北京語では《倆》とする可能性は高いが、「大路」では見られない。

金四、章大、你兩個人明天不要再來！（04）

03.4 進行表現

北方語では進行を表すのに副詞の《在》や《正在》を使わずによく語気助詞の《呢》を用いるが、「大路」には《在》で進行を表すものが4例あり、《呢》を見ない^⑧。

但是張大爺、金四是在教管章大學好..... (04)

他總在微笑他永遠向前..... (13)

他做夢也在開機器！ (13)

剛才你們在叫些甚麼？ (22)

03.5 否定副詞《没》と《没有》

動作が実現していない意を表す否定詞は北京語では《没》を用い、《没有》はあまり用いなかった。南京官話では《没有》をよく用いる⁹⁾。「大路」には《没有》が5例、《没》が1例あった。

他們又沒有妨礙了工作 (04)

這個人至少三天沒有吃飯啦！ (06)

大家不要亂！敵人還沒有來呢！ (17)

你還沒有看過我內書房裡的臥房哩！ (23)

不！他們沒有死！ (34)

從沒說過這事難辦！ (13)

03.6 程度を表す《～得慌》、《～得很》、《～極了》

程度を表す表現として南京官話では《～得慌》がなく、《～得很》を用いる¹⁰⁾。「大路」には《～得慌》の用例がなく、《～得很》の用例が1例ある。また、形容詞の《好》を使ったものだけであるが、《～極了》も見られる。

敵人厲害得很！我們在這裡築路有甚麼好處？ (17)

好極了！我多麼喜歡那鄉下啊！ (07)

03.7.1 動詞の《給》

清末ごろまで北方語では“与える”意の動詞は《給》を用いて南京官話では《把》や《與》を用いていたようである¹¹⁾。「大路」では《把》や《與》

の例は見ないが、《給》の用例は補語も含め3例ある。

胡老爺給了我們幾弟兄這許多錢！(20)

快把那珍珠米遞給我吧！(09)

這奸賊交給我去重辦！(29)

03.7.2 使役や被動の《給》

「北京語の文法特點」に“北方語では“叫”を使役と被動に用いるが、南では“給”をこれに用いることがある。北方でも“給”を被動に用いることがないわけではないが、意味が明確でないきらいがある。”とある¹²⁾。「大路」には使役と被動詞の用例があり、その意味は極めて明らかである。

過一天我叫他親自送一盤魚給你嚐一嚐……(10)

昨天晚上我聽見丁香在溪邊唱歌給小羅聽。(12)

我們的工錢又給人扣了……(17)

我真要給那六個惡狗氣壞了！(22)

給太太聽見了不得！(23)

03.8 使役の《讓》

動詞《讓》は北方語ではよく使われ、使役や被動にも用い、南方では用いることが少ない¹³⁾。「大路」では使役に用いられたものが4例ある。

從前你推倒我、我都是讓你不回手的！(04)

讓你們先逃十天、敵人的飛機一點鐘就可以追上來炸死你們！(17)

今天晚上你們讓大夥兒一齊逃命去！(20)

丁香、快給胡老爺做醋溜魚去、好讓胡老爺下酒！(22)

03.9 連動文中の《去》の連用

中国の南北の違いに連動文中の《去》を目的を表す動詞の前に置くか、後に置くかがある。《買去》(買いに行く)であれば北の語順で、《去买》は南の語順だとされている。ただ、《去請安去》のように前後に《去》を置いたものは南北混合とされている¹⁴⁾。「大路」には南北の語順と《去》を前後に置いた南北混合の用例が見られる。

你們要去築公路嗎？(07)

大家築公路去！(07)

這人不好好地做工、我帶他去見胡幫辦去！(10)

好姐姐、聽說你們老爺把幾個犯罪的小工關起來了、我們去看看去、好嗎？(22)

我們去找他去！(24)

03.10.1 介詞の《上》と《到》

「北京語の文法特點」に行き先を表す《上》は南では《到》を用いることが多かったとある¹⁵⁾。「大路」では《上》の用例がなく、《到》を用いている。

過一天我帶你到胡幫辦家裡去玩玩(12)

為甚麼又到這裡來打我們？.....(17)

03.10.2 介詞の《給》と《跟》

太田氏によれば“～に”、“～のために”等の意を表す《給》は南京官話では《替》や《和》を用いるようである¹⁶⁾。「大路」では《給》を用いて、《替》や《和》を見ない。

大家要你唱歌、不要客氣吧。給大夥兒來一個！(12)

給你好說是不行的、叫你們嘗一點老爺的刑法、你們就肯聽了…… (20)

丁香、快給胡老爺做醋溜魚去、好讓胡老爺下酒！ (22)

介詞の《跟》は元々南方では用いられない語彙であるが、「大路」では用いられている¹⁷⁾。

誰欺侮我們的小丁香？誰敢、我跟他拼命！ (12)

洪管事。承您看得起、過一天一定跟您去拜望你們老爺！ (12)

03.11.1 推測を表す副詞《也許》と《或者》

元々推測を表す《也許》は北京語で用い、《想是》、《或者》、《敢是》等は南方で用いる¹⁸⁾。「大路」では《或者》の用例が1つあり、《也許》の用例はない。

好小子。記着他、以後或者有用！ (10)

03.11.2 禁止を表す副詞《別》

「北京語の文法特點」に禁止を表す副詞の《別》は北方語で、南京官話では《莫》を用いるとある¹⁹⁾。「大路」では《別》の用例は1例あるが、それ以外は《別》と同じ意を表す《不要》を用いている。最近は南方でも《別》を用いることが改革開放前より多くなってきているようだが、それでもやはり南方では《別》よりも《不要》の方をよく用いるようである²⁰⁾。また《莫》は「大路」の中の歌の中で用いられている。《莫》は30年代には書面体の言葉としてしか使われなくなったのかも知れない。

呦！老鄭！你別以為你是東北大學的學生出身。動不動管人！ (03)

金四、章大、你兩個人明天不要再來！ (04)

我的小丁香妹妹、不要聽小羅唱歌出了神！ (09)

大家要你唱歌、不要客氣吧。(12)

大家不要亂！敵人還沒有來呢！（17）

大家不要亂！這奸賊交給我去重辦！（29）

大家一齊流血汗、為了活命、那管日曬骨酸、合力拉繩莫偷懶、團結一心
不怕鐵滾重如山。(08)

03.12 接尾辞の《家》

「北京語の文法特點」に北方語では《家》が《整天家》のように接尾辞に用いられ、南方ではそれを用いないとある²¹⁾。「大路」では助詞《的》を用いた用例が見られる。

整天的發愁就可以收復失地嗎？(02)

03.13 一人称の包括形と除外形

話し手と聞き手を含む包括形の《咱們》と聞き手を含まない除外形の《我們》は「大路」の中でも北京語と同じように明確に区別されている²²⁾。ただ「大路」には《咱們》の用例は1例しかないが、その用例は包括形と除外形の区別が明らかである。

失業！哪兒不是失業？！我們就這麼灰心嗎？咱們誰也不是灰心人！（04）

ここでは除外形の《我們》と包括形の《咱們》をうまく使って聞き手である相手を元気づけようとしている。

04 ま と め

上記の03で述べた語句を北方語に属すもの、南方語に属すもの、南北混合のものとして3つに分け表1にした。尚、表1の中の（ ）の数字は「大路」の中で見られる用例の数である。

表 1

| | |
|------|--|
| 北方語 | 哪儿 (1) 没 (1) 極了 (2) 給 (動詞 2) 讓 (使役 4) 給 (介詞 6) 跟 (介詞 2) 別 (禁止 1) 咱們 (1) と 我們 (10 以上) の 區別 |
| 南北混在 | 「去」の混合 (3) |
| 南方語 | 哩 (1) 這樣 (5) 在 (副詞 4) 沒有 (副詞 6) 得很 (1) 到 (10 以上) 或者 (1) 不要 (禁止 6) |

「大路」の台詞には元々北方語に属するものが見られるが、但し、語気助詞の《哩》が見られたり《沒有》と《不要》を多用する状況から「大路」の言葉は基本的に南方の言葉が基調となっているようである。但し、数は少ないものの北方語のものが見られ、更には人称代名詞の包括形と除外形の区別や介詞《給》が見られることから南方語に北方語が混入した状態の言語が「大路」の言葉の特徴であると言える。もしこうした特徴を持つ言葉を標準語として見るならば、南方の言葉を基盤とした言語の中にどのような北方語が混入していたかを考察することで当時の標準語の実態を明らかにできるのではないかと考えられる。以上の考察の結果から当時の映画の台詞も言語研究の資料として有効であることがわかれると思うが、ただ今回の「大路」の台詞は分量として十分なものではない。今後は他の30年代前後に上映された映画の台詞を言語資料として整理した上で、それらを考察していき当時の標準語の研究に幾分なりとも役立てたいと考えている。

05 「大路」の台詞

以下は無声映画「大路」の台詞であるが、01～33の場面に分けてある。また()の中の日本語は各場面の説明である。無声映画なので台詞が無く、映像だけが流れる場合があるので()の日本語の説明だけで終わっているものもある。台詞はできるだけ画面に映ったものをそのまま記した。

01

(荒涼とした道をとほとほと赤ん坊の金四を抱いた夫婦が歩いている)

32 (渡部)

(突然女が倒れ男が抱きかかえ、赤ん坊が大きな声をあげて泣く)

金四の父：這樣難走的路！…… 早知道出來也是死、不如同那些人在鄉下
餓死就算了。

金四の母：金歌兒的爸爸…… 你們朝前走！…… 回去…… 只有死！……
(夫が亡くなった妻の為に墓をつくる)

02

(3年後、道路づくりのためにローラーを引く男たちの中に赤ん坊を抱いている
者がいる)

(10年後、その子供は少年になり父といっしょにローラーを引く)

(ある日父は倒れ亡くなり、20年後、少年は青年になり父と同じようにローラー
を引いてお金を稼ぎその日暮らしの生活をする)

(飯場の者はみなその青年金四が大好きで飯場のリーダー的存在となっていた)

羅明：金哥、我若有一天能夠駕那麼一輛機器壓道車、我真是死也無恨！

金四：小羅、你總是這樣地高興！

(金四が張羽を見る)

金四：老張、高興一點兒吧！整天的發愁就可以收復失地嗎？

張羽：我是高興不起來！……

03

(5、6人の飯場の人夫がトラックの荷台に乗って2人の女子学生の前を通り過
ぎる)

(飯場で働く人夫の1人章大が小さな石を女子学生に投げつけ、その反応を見て
楽しんでいる)

鄭君：章大、你這樣胡鬧老不改、你的懷習慣人家見了工人都要頭疼了！

章大：呦！老鄭！你別以為你是東北大學的學生出身，動不動管人！

鄭君：我並不是要來管！這樣胡鬧下去、恐怕大家要做亡國奴！

章大：你才是亡國奴！大爺沒有錢玩女人、拋一兩塊碎石子尋尋開心、有什

麼要緊？

04

(トラックが飯場につき、鄭君が降りるとすぐに金四のところに行き、章大のことを話す)

鄭君：金哥、章大這傢伙、又在車上調戲女人！

(金四はそれを聞くと章大のところへ行き、怒って章大を押し倒す)

章大：哼！從前你推倒我、我都是讓你不回手的！

(金四は笑って章大と掴み合いの喧嘩を始めるが、雇い主が現れ大声で怒鳴る)

雇い主：這地方是可以隨便你們幾個人胡鬧的嗎？金四、章大、你兩個人明天不要再來！

鄭君：但是張大爺、金哥是在教管章大學好…… 他們又沒有妨礙了工作！

……

(雇い主は鄭君、金四やその仲間たちの顔を見渡して言う)

雇い主：你們五個人是一幫、明天都滾蛋！

(雇い主は怒ってその場を立ち去り、金四等5人は気を落としてぞろぞろ歩いて飯場の休憩所に行き座る)

張羽：又失業了！

金四：失業！哪兒不是失業 我們就這麼灰心嗎？咱們誰也不是灰心的人！

05

(夜、飯場の人夫たちが住んでいる街のある宿の前で章大等3人が座って話していて、そこに金四と仲間が歩いてやって来る)

鄭君：金哥、找着了工作沒有？……

羅明：一時找不着工作、有什麼要緊？……

金四：媽的！他倒有大少爺口氣！我們誰能夠一天不吃飯呢？！

(金四が笑い、章大が飲み水の入ったお碗を金四等3人に手渡す)

06

(ある若者がお腹をすかせ、店の売り物を盗って逃げ、金四の前で捕まり多くの人が集まってくる)

金四：你們看得出嗎？這個人至少三天沒有吃飯啦！

(金四のひとつで取り囲んでいた人たちが立ち去る)

07

(金四は盗みを働いた韓小六子を自分の住む人夫の宿に連れて行く)

金四：怪有趣的一個小癩三！你叫甚麼名字？

韓小六子：人都叫我小六子。..... 其實我只是一個人、也沒有家。我找不到工做。

(章大が韓小六子の顔を見て大笑いする)

金四：後來、..... 偷東西偷慣了就不肯去找工做了！對不對？

(金四が大きな手で韓小六子のあごをつかみ、自分の顔を直視させるようにする)

金四：以後你和我們一塊住吧。要吃飯就得要做工！

羅明：但是我們的工作呢？..... 我們到那裡去？.....

(金四はしばらく考え、何か思いついた顔をする)

金四：我們築公路去！

(周りにいた仲間がみんな笑顔になる)

羅明：好極了！我多麼喜歡那鄉下啊！

鄭君：到內地去築路不在他人統治之下的都會裡偷生。..... 我贊成！

張羽：哼、內地就沒有他人統治的勢力嗎？

章大：鄉下沒有女人吧?!

金四：明天出發！

劉長：金哥、你們要去築公路嗎？我們一齊去！

(外に出て金四が人夫仲間呼びかける)

金四：走啊！大家築公路去！誰和我們一齊走

(人夫仲間がみんな手を挙げ金四と国道建設に行くことを喜ぶ)

08

(金四等筋骨隆々の男たちが列を組んで歌を歌いながら国道建設の現場に向かって歩いている)

大家一齊流血汗、為了活命、那管日曬筋骨酸、合力拉繩莫偷懶、團結一心不怕鐵滾重如山

大家努力一齊向前、大家努力一齊向前、大家努力一齊向前、壓平路上的崎嶇

09

(飯場の近くに飯屋があり、そこで茉莉、丁香2人が下準備をしている)

茉莉：我的小丁香妹妹、不要聽小羅唱歌出了神！快把那珍珠米遞給我吧！

丁香：茉莉、你真懷！我告訴爸爸把你送回老家打花鼓去！

10

(飯場では現場監督がある人夫を叱りつけていて、周りの人夫たちは現場監督をにらみつけている)

人夫：快救救我吧！..... 我病了實在做不動 周大爺他要抓我去！

(金四が監督役の周の前に来て周をにらむ)

周：金四、你少管閑事！這人不好好地做工、我帶他去見胡幫辦去！

(胡幫辦が太鼓持ちの洪金と遠くからその様子を見ている)

(飯屋の娘は遠くから眺めていたが、しばらくして騒ぎの場に向かう)

(人夫たちが工事用の道具を振り上げ“はなしてやれ”と声をあげ、監督役の周は怖くなってその人夫を放す)

胡幫辦：那個黑小子是誰？..... 為什麼那許多人跟着他！

洪金：好小子。記着他、以后或者有用！.....

胡幫辦：還有那兩個女的？..... 是誰？.....

洪金：大的叫茉莉、從前是賣解的、小的是開飯舖丁老頭的娘兒、叫丁香、

燒得好醋溜魚。過一天我叫她親自送一盤魚給你嚐一嚐.....

11

(飯屋に大勢の飯場で働く人夫が入ってくる)

(丁香が羅に持ってきた湯呑みをみんなで取りあう)

丁香：你們真懷。…… 這茶里沒有糖、你們搶些甚麼？

(茉莉がその湯呑みを取り上げ丁香に一口、自分も一口飲む)

茉莉：現在可真是甜蜜蜜哪！

(みんながその湯呑みを取ろうと必死になって集まってくる)

丁香の父：他們一天到晚辛苦也難怪他們一得空就要開玩笑了！

12

(夕食時、みんな一緒に飯屋で食事をしている)

韓小六子：昨天晚上我聽見丁香在溪邊唱歌給小羅聽。我們大家叫她唱一個！

(みんなで丁香に歌を歌わせようと相談し、金哥が立ち上がる)

金四：丁香。大家要你唱歌、不要客氣吧。給大夥兒來一個！

(丁香が困っている中、みんながはやしたてる)

茉莉：誰欺侮我們的小丁香？誰敢、我跟他拼命！

(金四と他の仲間が合図しあって茉莉を両側から抱え込みテーブルに座らせると、目の前では2人の子供の芸人が曲芸をしている)

金四：你狠！你狠！…… 你是跑遍江湖的老花鼓！你唱！

(周りの者もけしかける)

(金四が曲芸をやっている子供から棒を借りてみんなに音の出せるもので伴奏するように指示をする)

茉莉：你們奏起樂來、我就唱！……

(伴奏が始まると茉莉が歌い始める)

茉莉：說鳳陽、道鳳陽 鳳陽本是好地方

自從出了朱皇帝 十年倒有九年荒

大戶人家改行業 小戶人家賣兒郎

說鳳陽、道鳳陽 鳳陽年年遭災殃
堤埧不修河水漲 田園萬里變汪洋
多少人家葬漁腹 多少人家沒衣裳
奴家為了三餐飯 身背花鼓走四方
說鳳陽、道鳳陽 鳳陽年年遭災殃
從前軍閥爭田地 如今矮鬼動刀槍
沙場死去男兒漢 村莊留女和娘
奴家走遍千萬里 到處餓寒到處荒

(洪金が手下を連れて飯屋に入って茉莉の歌を聴く)

(洪金が茉莉に近づく)

洪金：茉莉，唱得好極了！過一天我帶你到胡幫辦家裡去玩玩！

茉莉：洪管事，承您看得起，過一天一定跟您去拜望你們老爺！

(洪金が丁香にも近づく)

洪金：丁香，胡幫辦聽說你燒得好醋溜魚，過一天我帶你送一盤去……

(金四が洪金に近づく)

金四：洪管事，您坐過飛機沒有？……

(金四が洪金を軽々と肩の上に担ぎ、くるくる回る。洪金を下に降ろすと目が回ってよろよろとして韓小六子によりかかり2人とも倒れる。周りの者はみんなそれを見て大笑いする)

13

(仕事場でみんな歌を歌いながら働いていて、その歌声は飯屋の中にまで聞こえる。飯屋の小部屋で丁香と茉莉は休憩し、その歌声を聴いている。茉莉が丁香に近づき小さな声で話す)

茉莉：你真足！又叫人疼！又惹人愛。所以那小羅連飯都不想吃哪！

(茉莉は両手で軽く丁香の顔を押しえ頬にキスをする。更に茉莉は丁香を抱き上げ2、3歩歩くと、揺り椅子に腰を降ろし丁香の頬に軽くまたキスをする)

丁香：茉莉，你告訴我…… 輕一點兒聲音好了…… 你是愛誰。

(茉莉は丁香の言葉を聞いて大笑いする)

茉莉：輕一點兒 幹嗎要輕一點兒聲音呀？ 我偏要大聲說！他們我都愛！

(丁香が茉莉の横に寝そべる)

茉莉：我愛金哥的勇敢！ 他總在微笑他永遠向前 從沒說過這事難辦！

(茉莉が微笑み指で丁香の頬を軽く2、3回押す)

茉莉：我愛老張的鐵臂！ 他不大說話、他埋頭苦幹、一捏人手一下要痛三天！

(画面に張羽の働いている姿が映る)

茉莉：我愛鄭君的聰明！ 世上的事、他知道得那麼清 編出得歌兒真動聽！

(画面にハーモニカを吹く鄭君が映る)

茉莉：我愛章大的粗笨！ 說了就幹 乾了又悔、粗莽賽過魯智深！

(画面に章大の話す姿が映る)

茉莉：我愛小羅的志氣！ 又年輕 又美麗 他做夢也在開機器！ 不過就是帶點兒大少爺脾胃！

(画面に羅明の少年のような顔が映る)

(茉莉が丁香の頬にキスをする)

茉莉：還有那小六子的千靈百怪！ 這猴兒好事不會做 歹事都是別人逼他才做出來！

(画面におどけた韓小六子の姿が映る)

(茉莉と丁香がじゃれあい、遠くで丁香の父がじゃれあう声を聞いて微笑む)

(丁香の父が彼女たちのところに来る)

丁香の父：天不早了、驢子已經備好、你們快去辦貨吧。

(茉莉、丁香2人は慌てて仕入れに行く準備をする)

14

(茉莉、丁香 2 人は仕入れをして道路建設の職場によってみたが、金四等が見当たらないので働いている人夫の 1 人に訊ねる)

茉莉：金哥他們下了工、都跑到那裡去了？.....

(茉莉、丁香 2 人がロバを引いて小川の見える高台にやって来て見ると、小川で金四等が素っ裸になって水浴びをしてはしゃいでいる)

(茉莉が大声で金四等によびかけると、金四等は慌てて岩陰に隠れる)

韓小六子：快走開！不走我們就起來了！

(丁香は恥ずかしくて顔を手で覆い見ないようにするが、茉莉は意地悪するように金四等をじっくりながめる)

韓小六子：得了。算是我們輸了！有什麼話請吩咐罷！

(茉莉が恥ずかしがって後ろにいる丁香を呼んで、丁香が前に来て大きな声で言う)

丁香：今天晚上我爸爸請你們吃好菜！

(金四等が 2 人の後ろにいるロバの荷台の西瓜を見つける)

金四：驢背上有大西瓜！..... 兄弟們沖鋒呀！

(金四等は小川から出て服を着て高台に駆け上がり、丁香は彼らを見ないようにするため茉莉の手をひっぱって後ろへさがる)

(丘に駆け上がった金四等は荷台の西瓜の 1 つを韓小六子の頭におつけて割り、みんなで分けて食べる)

15

(丁の飯屋で金四等が食事をし、韓小六子は羅明と丁香がいないことに気づく)

韓小六子：呢！小羅和丁香偷跑了！

(茉莉は 2 人の行った場所がどこかわかっており、みんなで 2 人のいるところへ行く)

16

(井戸のある場所で羅明は丁香を見つめ、丁香が井戸のへりに座り歌う)

丁香：花兒又紅又鮮 開在了小河邊

對對小燕兒 飛在那柳樹尖

燕兒燕兒真會飛 燕兒真會穿

腳穿着黃皮鞋 身披黑布衫

燕兒燕兒 唧唧唧 穿穿 唧唧唧

飛飛飛 飛上青天

燕燕 唧唧唧 穿穿 唧唧唧

燕燕 唧唧唧 穿穿 唧唧唧

飛飛飛 飛回梁間

燕兒晚安 飛飛飛 唧唧唧

燕兒晚安 飛飛飛 唧唧唧

燕兒晚安 飛飛飛飛 穿穿穿穿

飛飛 穿穿 飛飛飛 飛呀

穿穿穿呀 飛飛飛呀 穿穿穿呀

飛飛飛呀 穿穿穿呀

飛回梁間喂小燕

唧唧唧 燕兒晚安 去晚餐

喂小燕 唧唧 唧唧

唧唧唧唧唧 小燕晚安

(歌い終わると丁香は羅明と見つめあうが、茉莉と金四等はこっそりと近づき、丁香と羅明を驚かす)

17

(丁香が恥ずかしがって怒っている時に丘の向こうから兵士の騎乗した馬が駆けてきて、飯場の男たち、茉莉、丁香、金四等が兵士が乗った馬のそばに集まる)

兵隊長：帝國的兵已經在這邊上岸、向我們進攻了！..... 你們的縣長在那

裡？

(洪金が指さす方向へ隊長と部下が馬に乗って走り去る)

(章大が韓小六子に話しかける)

章大：真奇怪！敵國纔搶去了那片地、為甚麼現在又到這裡來打我們？.....

鄭君：一點兒也不奇怪！..... 敵人是貪得無厭的！他們早就想進攻這裡
哪！.....

(すぐに多くの騎馬と歩兵が県長のいる場所へ向かう)

(数人の人夫がやって来て大声で言う)

人夫A：我纔從虎嶺關來 那邊已經聽得見大炮響了

人夫B：敵人厲害得很！我們在這裡築路有什麼好處？..... 不如大家逃命散
了吧！.....

人夫C：走啊！..... 大家逃命吧！我們的工錢又給人扣了 大家散啊

(みんなが逃げる準備にちりぢりばらばらになろうとした時、金四がローラーの
上に立つ)

金四：大家不要亂！敵人還沒有來呢！..... 大家瞎動、只有死

(みんなの足が止まる)

金四：現在逃命 太晚了！讓你們先逃十天、敵人的飛機一點鐘就可以追
上來炸死你們！

(みんなが金四に注目する)

金四：我們現在逃命、也太早了！這一條公路是要運兵用的！我們要幫助軍
隊去抵抗敵人。

(大勢の中のある者が大声で叫ぶ)

人夫D：我們不逃！

(みんなが拍手をする)

18

(人夫たちが昼夜を問わず働く姿を隊長と胡幫辦が見て微笑む)

胡幫辦：這樣地日夜趕築、三天以後、就可以連接虎嶺關的公路、我們運兵

42 (渡部)

到前方、就可以直達了！

(胡幫辦はそう言いながら昨夜案内人が連れてきた敵のスパイと約束をかわしたことを思い出し、その場面になる)

案内人：他說、這條通虎嶺關的公路馬上要停工、你如果辦得到

(案内人のそばにいる黒ずくめのスパイは小切手を胡幫辦の前の卓上に置く)

案内人：他說、收下他的支票、或者吃他的炸彈！.....

19

(丁香が中華鍋で魚を焼いていると飯場の者が大勢飯屋に入ってくるが、金四等が見えない)

劉長：金哥他們跟着洪金到胡公館去說不來這裡吃飯哪。

(丁香が茉莉に言う)

丁香：到胡家去哪？.....

20

(胡幫辦の屋敷の大広間にある大きなテーブルを金四等と胡幫辦が囲んで食事をし、そばには美しい女中がお酒をついでいる)

胡幫辦：剛纔我已經說過敵人的炮火飛機厲害至遲明晚就要打到這裡！大家的性命難保！.....

(金四等はほとんど話を聞かないで飲み食いしている)

胡幫辦：你們拼命趕緊築路離了家小在外面受苦你們幾千路工的性命情願白送嗎？

(金四等は相も変わらず話を聞いていないで、ただただ飲み食いしている)

胡幫辦：我知道你們六位是領導路工的人你們忍心看着那幾千路工冤枉送命嗎？

(胡幫辦は女の召使いに札束を持ってこさせ、みんなに札を配る)

胡幫辦：這裡我幫助幾位每人四百塊洋錢大家逃命去吧！今天晚上你們讓大夥兒一齊逃命去！.....

(みんな紙幣を持って顔を見合わせると、金四がすっと立ち上がる)

金四：胡老爺給了我們幾弟兄這許多錢！又救了大夥兒路工的性命！真是天下第一好人！

(金四は胡幫辦からもらったその紙幣を握りしめながら話す)

金四：但是我們逃了性命恐怕有幾千萬人反倒要送了性命！胡老爺真是天下第一聰明人！.....

(胡幫辦が真顔になる)

金四：很不湊巧！我們都不是聰明人、這一種聰明的錢、我們不要！

(金四は紙幣を細かくちぎった後、手をつくった空気鉄砲でポンとそのばらばらになった紙幣を飛ばした)

金四：弟兄們、你們都會這玩意兒嗎？

(他の仲間も金四と同じことをやりだし、韓小六子にいたっては紙幣に火をつけ、口の中に入れて口から煙を出す)

(この行為を見た胡幫辦は怒る)

胡幫辦：蠢豬！你們居然敢和老爺碰嗎？

(胡幫辦はがたいの大きな男たちを呼び金四等をはがいじめにする)

胡幫辦：給你好說是不行的、叫你們嘗一點老爺的刑法、你們就肯聽了.....

金四：你這奸賊！

(金四等ははむかって暴れようとするが、多くの男たちに押さえられ、地下の牢屋に連れていかれる)

(地下の牢屋で胡幫辦は手下の男たちに金四等を柱に縛り付けさせ、ムチを手にする)

胡幫辦：拿洋錢好？..... 還是皮鞭好？.....

(金四は胡幫辦に向かって微笑む)

金四：我是啞巴！

(胡幫辦はすぐにそばにいた手下の大男に金四の上半身の服をやぶらせ、ムチで血だらけになるまで打たせる)

胡幫辦：每人先賞他三十皮鞭！再不答應、晚上要他們的狗命！

44 (渡部)

(胡幫辦は言い終わるとその牢屋から出ていき、手下の大男が柱に縛り付けた金四の仲間を1人ずつ鞭で30回打つ)

21

(朝、工事現場で茉莉と丁香2人がやって来て現場で働いている人夫に金四等のことを訊ねる)

人夫：剛纔我們去胡家門房探問過說金哥他們早就走了！

丁香：那末他們現在在那裡？

(丁香は首をかしげたが、茉莉は微笑む)

茉莉：只有一個地方！

(茉莉と丁香の2人は家にもどろうとしたが、茉莉はさっき訊ねた人夫のところにもたもどり、その人夫に何か伝えて、待っている丁香のところへ戻る)

22

(夜、着飾った茉莉と丁香2人は胡幫辦の家に行つて、胡幫辦のご機嫌をとっている)

(テーブルの両側に茉莉と丁香がそれぞれ座り、茉莉は木琴で音楽を奏でている)

胡幫辦：虧得老洪把你這兩個好寶貝找來 不然、我真要給那六個惡狗氣壞了！.....

(茉莉と丁香は胡幫辦に酒をついでできるだけたくさん飲ませようとする)

茉莉：丁香、快給胡老爺做醋溜魚去、好讓胡老爺下酒！

(丁香は立ち上がり女中と一緒に調理場へ行こうとする)

茉莉：我也去！..... 我要看看你家裡的大廚房！

(丁香と茉莉は若い女中の後について調理場へ行き、茉莉がその女中に訊ねる)

茉莉：好姐姐、聽說你們老爺把幾個犯罪的小工關起來了、我們去看看去、好嗎.....

女中：不行誰敢帶一個生人到那裡去看？老爺知道了怎麼辦？

丁香：好姐姐我的哥哥在裡面你可憐我、帶我們去看一看吧！

(茉莉はポケットから布切りバサミを取り出しつきたて、丁香は声を出せないように手で女中の口をふさぐ)

茉莉：你要喊救、我先截死你！..... 大不了大家一齊死！

(ちょうどそこへ2人の女中と1人の使用人がやって来る)

女中A：剛才你們在叫些甚麼？.....

(茉莉は微笑みながら布切りバサミをその若い女中の背中につきたてる)

茉莉：一個老鼠從我們的腳面上跑過去啦！

(何も知らない女中2人と使用人の3人がそのまま別の部屋へ行ってしまった後、布切りバサミをつきつけられた女中は茉莉と丁香を地下牢の天井窓のあるところまで連れていく)

(茉莉と丁香が天井の窓から縛り付けられている金四等を見て、茉莉が布切りバサミを金四の足元に落とし、茉莉が丁香に言う)

茉莉：你快去告訴劉長他們去！軍隊方面也可以去報告！

(茉莉と丁香が女中に言う)

茉莉：對不住、綁你一會兒、半點鐘以後再放你！

(言い終わると茉莉と丁香は女中を紐で縛りあげて近くの部屋に押し込み、丁香は胡幫辦の館を出る)

23

(胡幫辦は茉莉がもどってこないで女中に言う)

胡幫辦：你去看看茉莉、請她快點回來！

(茉莉は急いで調理場にもどると、女中が呼びに来たので胡幫辦のところにもどり言う)

茉莉：好寬大的廚房！又漂亮！又乾淨！

胡幫辦：你還沒有看過我內書房裡的臥房哩！

茉莉：給太太聽見了不得！.....

46 (渡部)

24

(地下の牢屋では金四が足をうまく使って布切りバサミで縛られている足の縄を切る)

(丁香が道路建設場で作業中の劉長に言う)

丁香：劉長 快去救金哥他們六個人吧！..... 胡幫辦鎖起他們！..... 就要殺死了！

(劉長はそれを聞いて働いている仲間たちに言う)

劉長：胡幫辦把金哥六個人關鎖起來 就要害死他們啦！

(人夫たちが互いに顔を見合わせる)

劉長：胡幫辦賣了國、我們都要被他賣了！

(それを聞いたある人夫が大声でみんなに言う)

人夫：我們去找他去！我們去救金哥他們！.....

(人夫たちが松明に火をつけて胡幫辦の館へ行き、知らせを聞いた軍隊長も部下に言う)

隊長：大家已經動了公憤！..... 我們只好派兵一齊去一趟！.....

25

(牢屋で金四が縄を切り、仲間たちの縄もほどく)

(牢屋の番人が気づき、短剣を投げると張の胸にささる)

(金四は番人と格闘し、斬り殺されそうになるが、うまく逃げて張羽の胸にささった短剣を抜きとり番人目がけて投げつける)

26

(大勢の人夫たちが胡幫辦の館の門前にやって来て門を開けようとする)

27

(牢屋では金四と仲間たちが脱出しようとするが、胡幫辦の手下に気づかれ銃で撃たれ邪魔される)

28

(館の門は大勢の人夫たちが持ってきた大きな丸太の棒でうちやぶられ、大勢の人夫たちが館になだれこむ)

29

(牢屋のドア近くで銃を撃っていた胡幫辦の手下も弾がなくなり、その場から逃げる)

(金四等は地下の牢屋から脱出する)

(胡幫辦の館に入った劉長は館の使用人に命令する)

劉長：把胡奸賊捉出來！

(金四等が牢屋から脱出し、ホールの長椅子に短剣で深手の傷を負った張羽を横にならせる)

(そこへ茉莉がやって来て寢室の窓を指さし、みんながその方向を見る)

(兵士が寢室へ行き酔っぱらって手足を縛られている胡幫辦を連れていくと、茉莉は自分の上着から小切手の白い紙切れを取り出して言う)

茉莉：這是他賣國的證據！

(胡幫辦が兵士に連れられてくると周りにいた人夫たちから口々に罵声が飛ぶ)

隊長：大家不要亂！這奸賊交給我重辦！

(胡幫辦は罵声を浴びながら兵士に連れていかれる)

30

(茉莉も加わって金四等といっしょに道路工事を行い、その近くで隊長が部下に言う)

隊長：三天三夜公路完工、我們的兵車馬上就要通過此地了！

(羅明がローラー車を運転し、飯屋で働いている丁香に手をふる)

31

(突然、聞いたこともない音がして、見上げると1機の複葉機が飛んで来るのが

48 (渡部)

見える)

隊長：敵人的飛機！大家預備！

(敵機からの機銃掃射が始まり、人夫たちが倒れていく)

32

(銃弾に倒れた金四は這って倒れている兵士の銃をもち、狙い定めて敵機を撃ち落す)

33

(撃たれて息絶え絶えの茉莉は金四と手を握り合って2人は死に、そばでそれを見ていた丁香は手で顔を覆い泣く)

隊長：我們的路築完了！

(兵士を乗せた車ができたばかりの道路を次々とかけぬけていく)

34

(道路のわきに死んで横たわっている人夫たちを眺めながら丁香の父が言う)

丁香の父：他們都死了。

(丁香が顔を上げて言う)

丁香：不！他們沒有死！

(倒れている死体から魂が人の姿になって起き上がり、また道路工事をし始める)

(完の字が映される)

注

- ① ここで言う北京官話の定義は、太田辰夫氏の「北京語の文法特點」(243頁～244頁)で述べられた定義に依拠する。そのため本稿で言う北方語は北京官話のことでもある。ただ、本稿で言う南方語は南京官話とすべきかも知れないが、南京官話自体がどのようなものだったか明白でないので南京官話を基調とした言語とする。
- ② 本稿で述べた漢民族共同語研究のシンポジウムは2016年6月11日に北京の清華大学新斎353で行われた。日本人研究者として佐藤晴彦氏(元神戸市外国語大

学教授)、竹越孝氏(神戸市外国語大学教授)のお2人が招かれた。中国側の参加者は蔣紹愚氏、馮勝利氏、史皓元氏、王洪君氏、汪維輝氏、張美蘭氏等である。

- ③ 映画「大路」については佐藤忠男氏が『中国映画の100年』の中で詳しく紹介されている。初めの書き出しに“映画史上、無声映画からトーキーへの過渡期の産物にサウンド版という形式の映画がある。セリフはまだうまく録音できないので字幕になっているが、音楽と音響効果だけ入っているというものである。孫瑜監督の『大いなる路』(金焰、陳燕燕、黎莉莉主演/1934)はこのサウンド版であり、サウンド版であることの特性を巧みに活かした作品である。”とある。中国語のタイトル「大路」を「大いなる路」と訳されているが、本稿では「大路」とする。この映画の台詞は北京語についてのアンケート調査のため中国に行った時にネットで見たものをそのまま書き写したものである。
- ④ 『中国映画の100年』の「第一章 日中戦争までの中国映画の歩み」の中で紹介が日本政府から抗日運動への弾圧を繰り返して要求されていて抗日的な映画を上映させないようにしていたことが書かれてある。
- ⑤ 太田辰夫著『中国語歴史文法』382頁参照。
- ⑥ 「北京語の文法特點」(『中国語文論集』所収)250頁参照
- ⑦ 同上252頁参照
- ⑧ 同上254頁参照
- ⑨ 同上255頁参照
- ⑩ 同上256頁参照
- ⑪ 同上259頁参照
- ⑫ 同上258頁参照
- ⑬ 同上257頁参照
- ⑭ 同上258頁参照
- ⑮ 同上259頁参照
- ⑯ 同上259頁参照
- ⑰ 同上259頁参照
- ⑱ 同上263頁参照
- ⑲ 同上264頁参照
- ⑳ 「アンケート調査からわかる現代北京語の一側面」(『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』第33号62頁)の中の《別》と《不要》のアンケート調査報告で次のようなことがわかっている。現在も北京人は大方《別》を用い、あまり《不要》は用いないが、上海人は35名中18名が《不要》を用いて、16名が《別》を用いるという結果が出ていて現在は《別》の標準語化が進んでいるようである。
- ㉑ 「北京語の文法特點」265頁参照
- ㉒ 同上248頁参照

参考図書

- 『中国語歴史文法』 太田辰夫著 1958年 江南書院
『中国映画の100年』 佐藤忠男著 2006年 二玄社
『中国語文論集 語学篇・元雑劇篇』 太田辰夫著 1995年 汲古書院
『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』 第33号 2016年 大谷大学真宗総合研究
所

(大谷大学准教授 中国語・近世の中国語文法)

〈キーワード〉 共同語、南方語、北方語